

序

本書は1985年9月6日から10日までの5日間、東洋大学箱根保養所に於いて開催された「低次元PLトポロジー研究会(主題: Spine と Graph による 3-manifold の研究)」の講究録である。

今回の研究会は、研究課題「位相幾何学の総合的研究」(代表: 笹尾靖世氏)のプロジェクトの一として、上記の主題により企画されたもので、昭和60年度文部省科学研究費補助金総合(A)の配分を受けて行われた。感謝してここに記す。

研究会は9名の共同研究者(おうえお順: 敬称略):

池田 裕司	(神戸大・教養)
石井 一平	(慶応義塾大・理工)
河野 正晴	(神戸大・教養)
小林 一章	(東京女子大・文理)
鈴木 晋一	(早稲田大・教育)
津久井 康之	(相模工業大)
土肥 裕	(都立商科短大)
山下 正勝	(東洋大・工)
横山 和夫	(上智大・理工)

により主催された closed な、かつ内容の濃いもので、興味ある講演と徹底的な討論が展開された。それらの話題について重要な結果が数多く得られたので、今後の研究の資料とすべく、講究録を出版する運びとなった。

津久井康之氏には準備・運営から編集・出版にいたるまで大変お世話になった。紙面を借りて、幾重にもお礼申し上げる。

山下正勝